

## 作業環境アドバイスとマスク・フィットテスト(出張)

一般社団法人 足利労働基準協会

### 発生する有害な「溶接ヒューム」

アーク溶接の際に出る白い煙は、空気中で酸化して「溶接ヒューム」と呼ばれる金属の微粒子となって拡散します。これを吸い込むと、神経障害などの健康被害を起す恐れがあるため、令和3年に溶接ヒュームを「特定化学物質」とする法令改正が行われました。



### 「マスクフィットテスト」が義務化されました

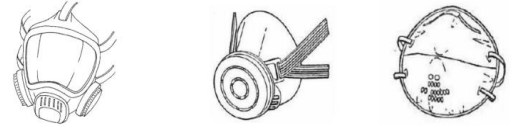
令和5年4月から、屋内でアーク溶接作業を継続して行う場合は、使用しているマスク(呼吸用保護具)が、作業者の顔にしっかりと装着され、有害物質(溶接ヒューム)が遮断できているかどうか、少なくとも1年に1回、測定器を使用したテストが義務付けられました。

(被覆溶接・ティグ溶接・ミグ溶接など、工法は問わずアークを熱源とした溶接等の作業が対象です)

#### こんな事業所ありませんか？

1年に1度のテストのために、高額な測定器の購入は困難  
社内で測定実施者の養成などの体制が整わない など

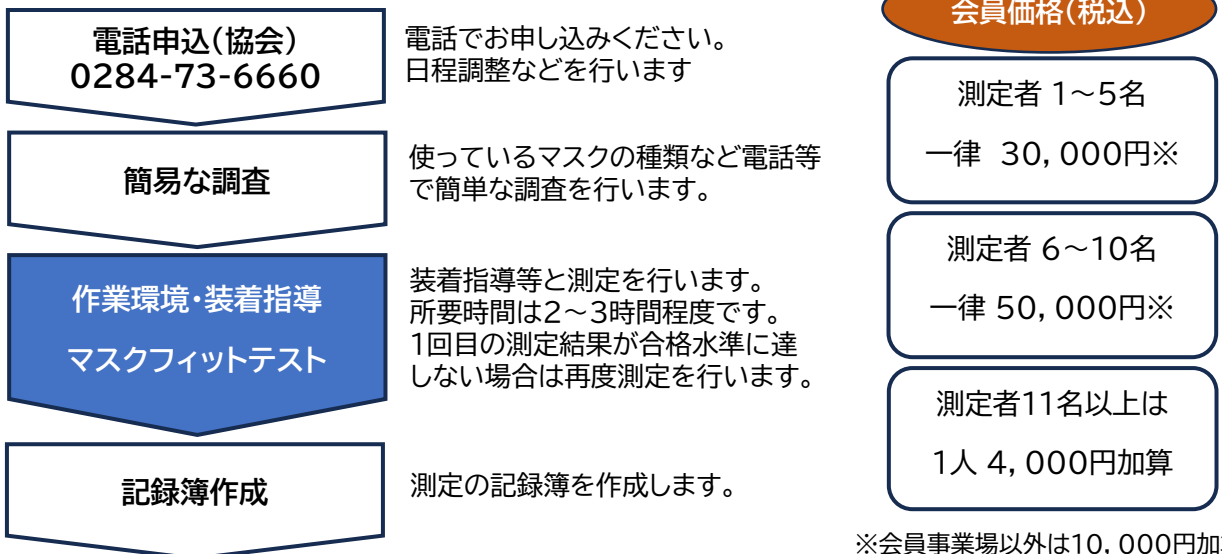
【取り替え式・全面形面体】 【取り替え式・半面形面体】 【使い捨て式】



### そんな事業所向けに…

労働基準協会では、委嘱する労働衛生コンサルタントが、皆様の事業場に直接出向き、「作業環境やマスク選定のアドバイス」「作業員への装着指導」「マスクフィットテスト」を行います。テスト記録の作成や、必要に応じてその後のフォローアップも行います。

### 申込から実施までの流れ



※会員事業場以外は10,000円加算